

2024 年度 第 3 回講演会 参加者アンケート集計結果

アンケート集計条件 (講演会実施日：2024 年 10 月 12 日)

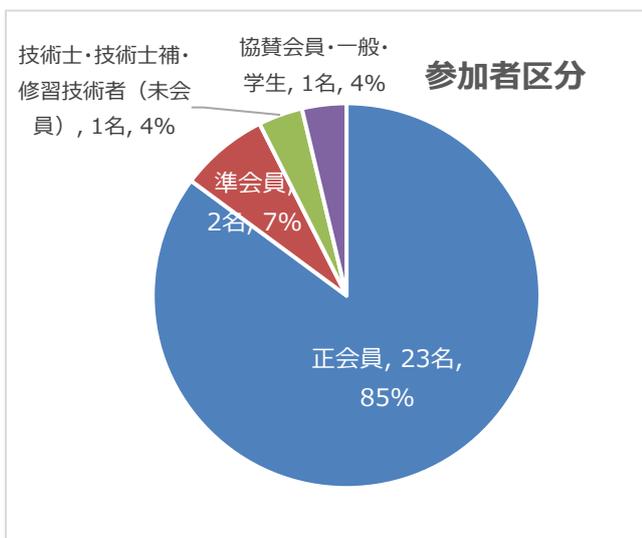
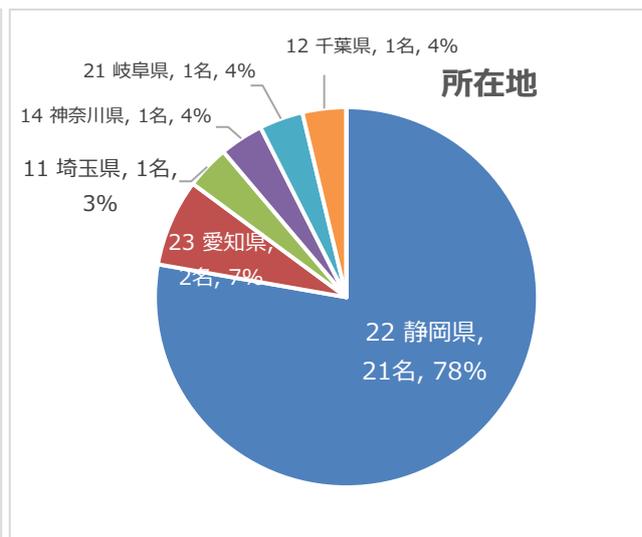
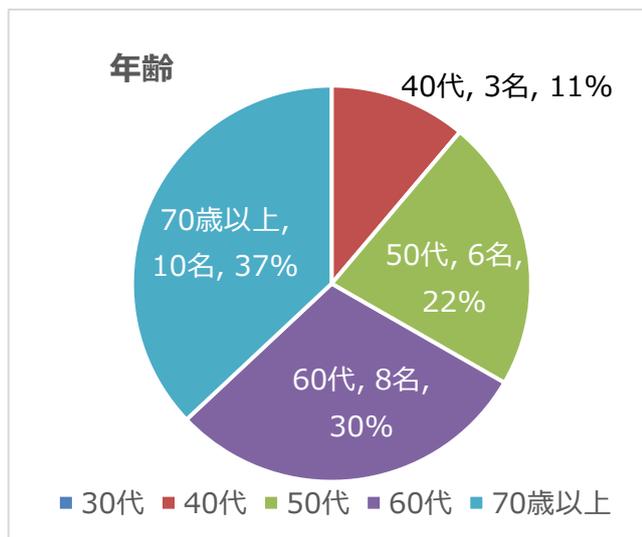
アンケート回収方法： Google フォームを活用した Web 経由による回収

アンケート回収期間： 2024 年 10 月 14 日から 10 月 23 日 (10 日間)

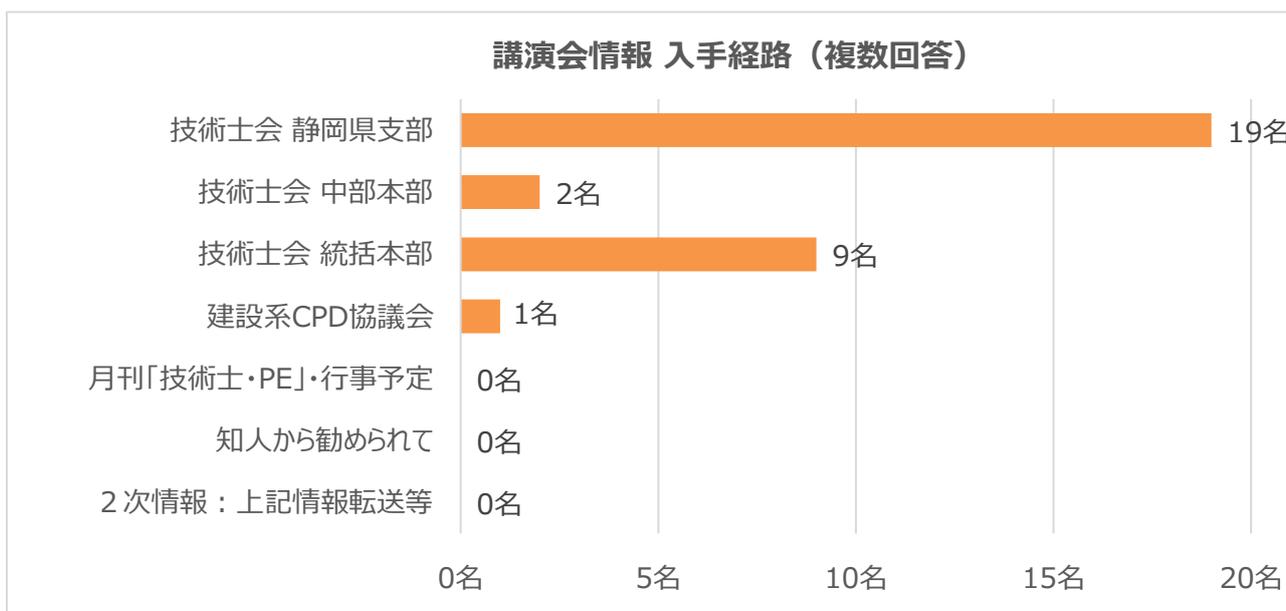
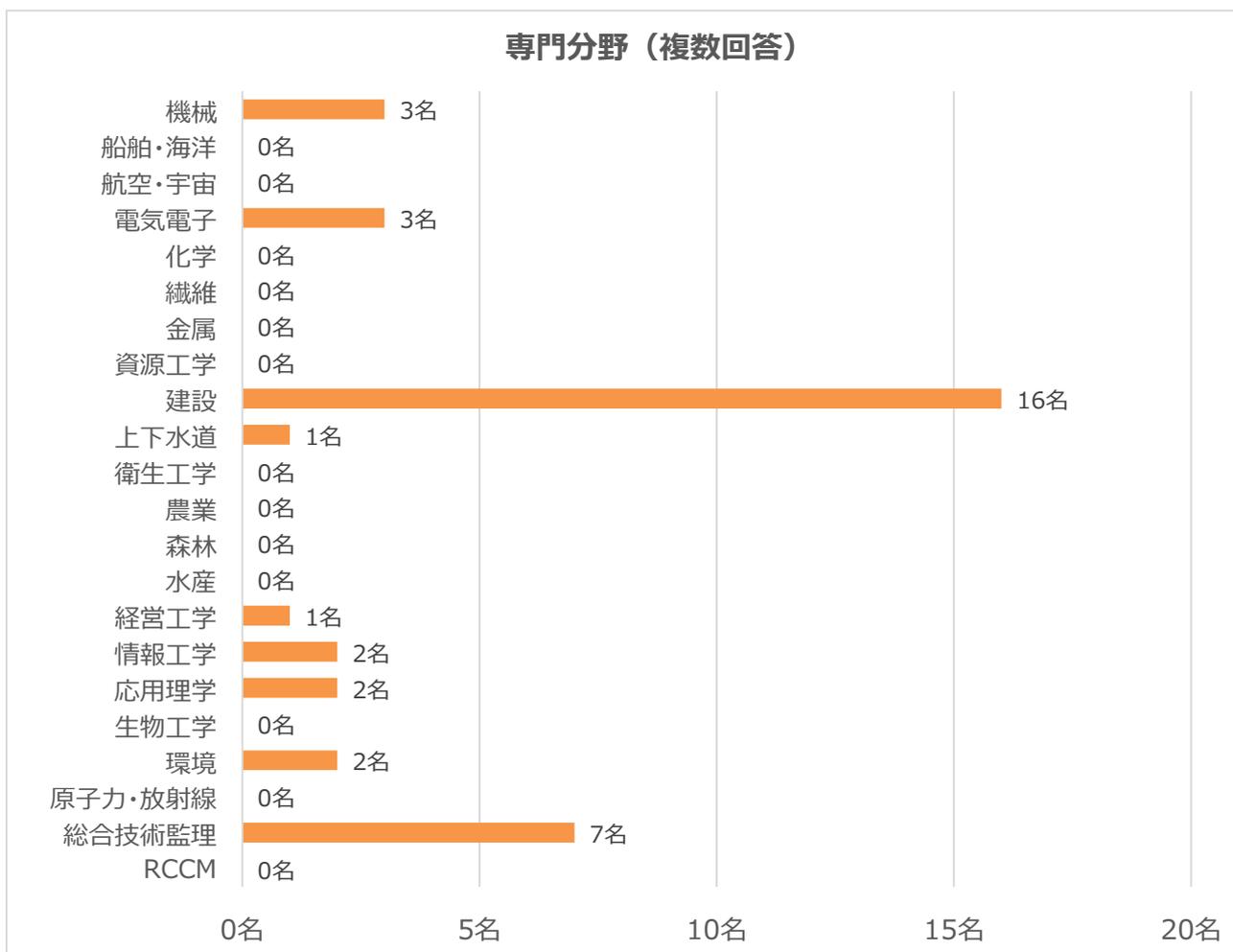
アンケート回収件数： 27 名 (重複回答を除く)

アンケート回収率： 77 % (講演会参加者 35 名)

講演会 参加者情報

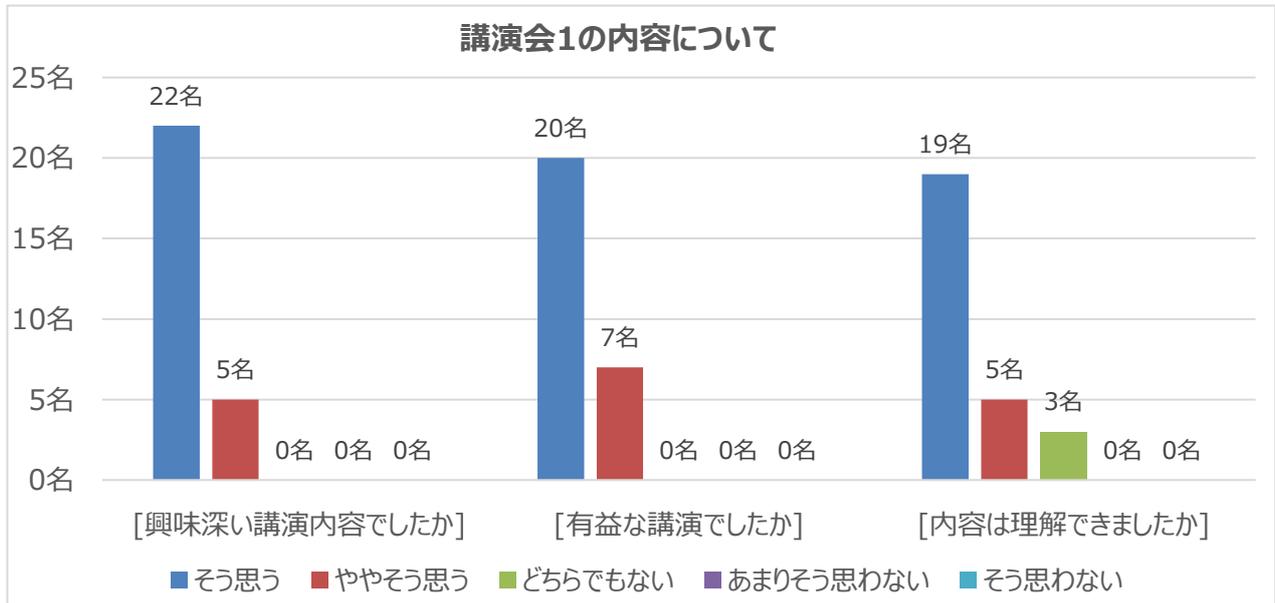


講演会 参加者情報

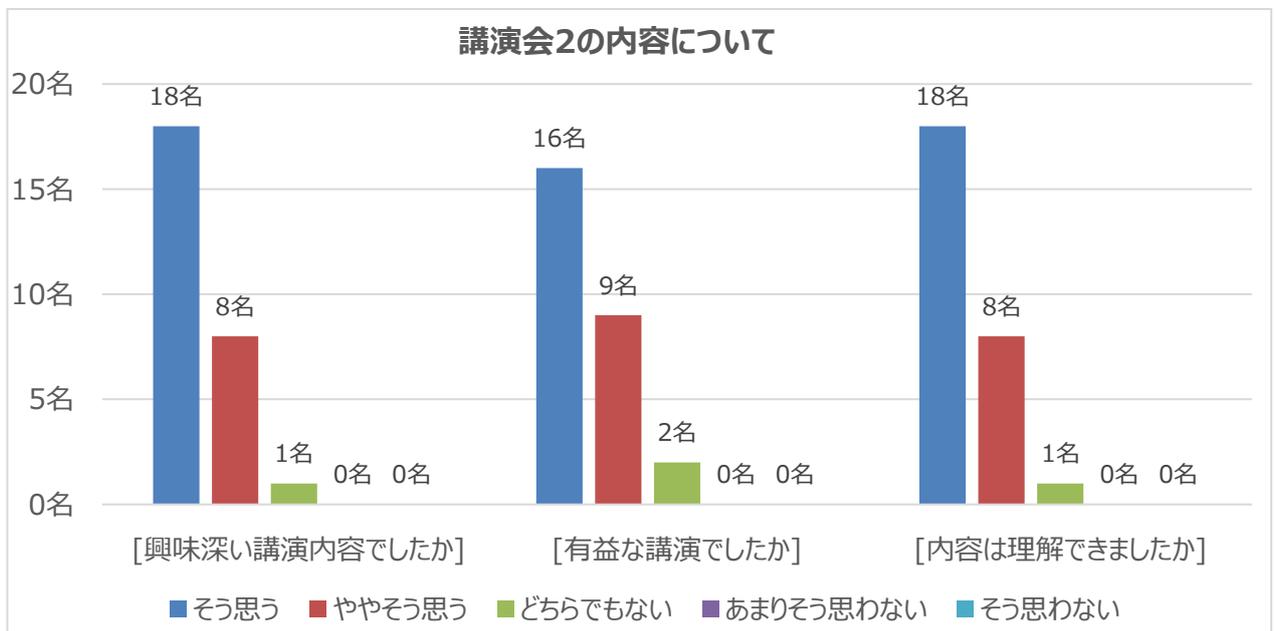


講演会の内容について（参加者のコメントは別紙①参照）

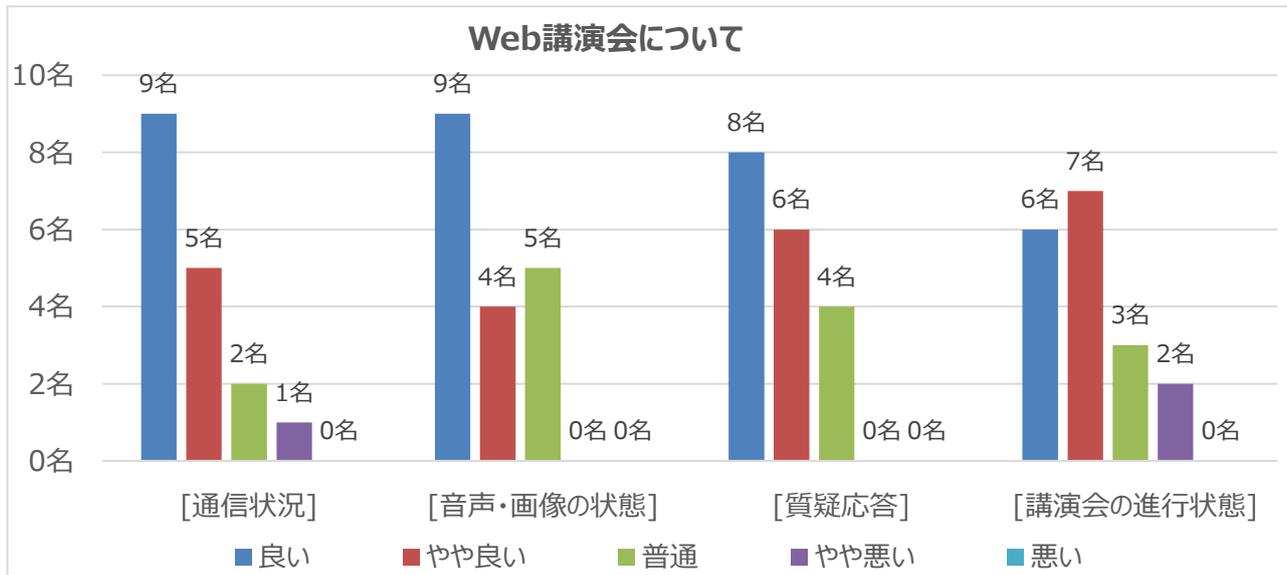
講演 1 「持続可能な自然環境と社会を創造するための技術」



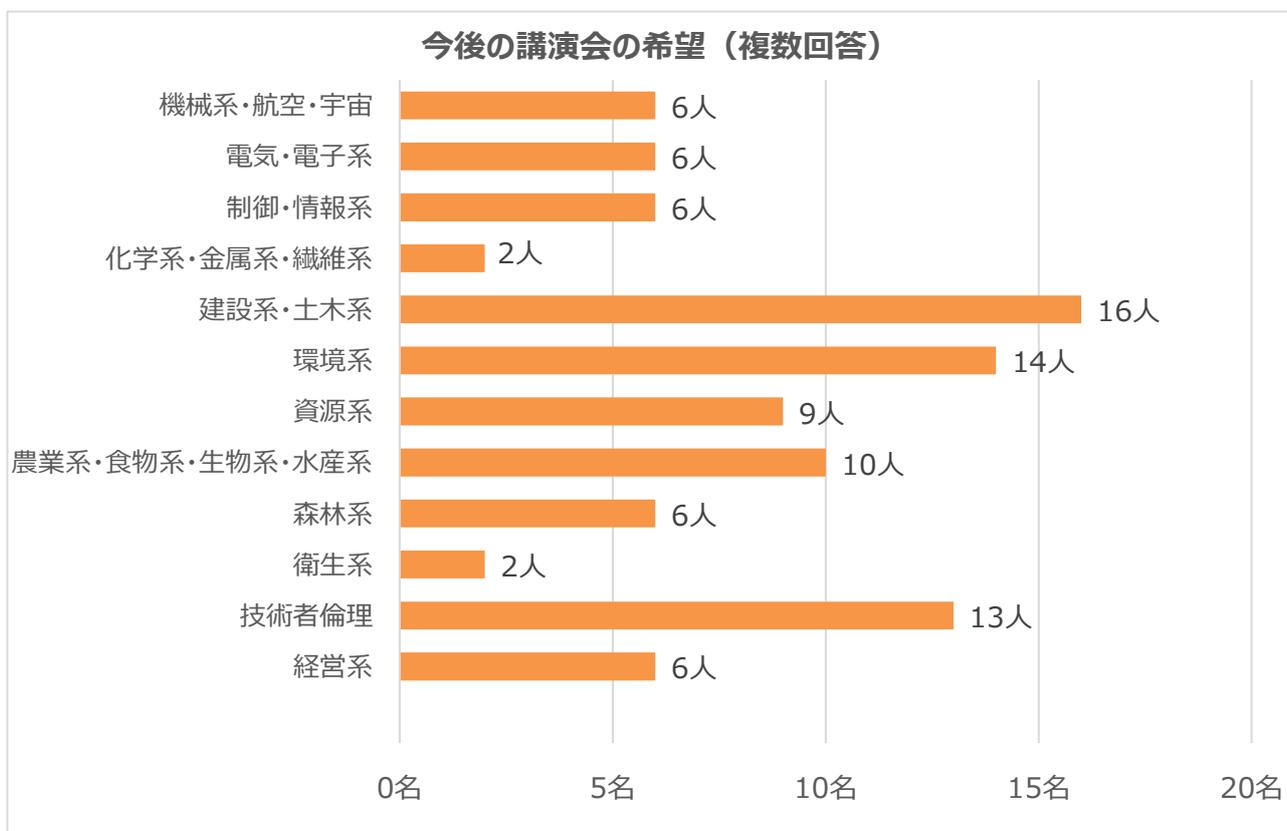
講演 2 「静岡県内の河川事業インフラ整備と今後の展開」



Web 講演会について

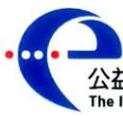


今後の講演会の希望



別紙①-1 講演 1「持続可能な自然環境と社会を創造するための技術」 コメント (18 件)

- 興味深い内容でした。見学の機会があればより理解が深まるものと思います。
- 講演会内でご発言のあった黒部第三発電所(仙人谷ダム)、第二発電所(出し平ダム)は発電を行い稼働しています。確かに堆砂は多いのですが、特に出し平ダムは排砂ゲートを新設して対応しています。
- 再生可能エネルギーの進展に期待します！
- 今後の小型バイオマス発電と波力発電の更なる事業展開を期待します
- 持続可能な流域創造に、燃料林の生産は重要で災害対策も兼ねます。ひいてはバイオマス発電などの新規産業と雇用に繋がれば理想で国策として力を入れるべきだと思います。
- 「科学に先立つのは思想」という言葉が心に残りました。
- Q & A で出た話題ですがダムを水力発電にもっと活用すべきに賛成です。
- 水力発電が今後伸びる可能性があること、エネルギーの依存意識からの脱却が持続可能につながることを学びました。
- 大変に参考になり、有意義な講演だと思いました。前職で、行政に携わった者としては、少し先生の思いが強すぎるとも感じましたが、今後検討すべき課題だと思います。
- 各種再生可能エネルギーの推進について、日頃疑問に思っていたことが理解できました。特に洋上風力発電は以前地元（遠州灘：袋井～御前崎間）に開発業者が自治会に説明に来たことがあり、漁業への影響、景観、地元へのメリットが不明などの理由により没になった経緯があります。陸上に比べてメンテナンスが困難で機運が下がっているのはもともとだと思います。
- 持続可能な資源を活用していきたいと思います。
- 自らも SDG s について取り組むべきと再考させられました
- 持続可能な社会を構築するために、最新のエネルギーを得る手法と動向について知見を得ることができ大変有意義でした。
- 講演内容はさることながら、講師の健全な批判精神と自ら考え行動する姿勢に圧倒されました。
- 再生可能エネルギーについて、大変興味深かった。水力発電：国交省管理の直轄ダムにおける発電について、是非実現願いたい。波動発電：静岡県内には、港湾や漁港が多く存在していることから、是非実現願いたい。漁港の船揚げ場や物揚げ場は、小さなコストでの施設設置可能性を感じます。
- 様々な発電機の製作（燃料から始まり電気を取り出し使うまで）と、裏付けとなる力学エネルギーなどの法則との関連までが含まれたご講演で、とても参考になりました。
- 最新の技術情報をお聞きすることができました。
- 講演内容外の本音が、大変興味深く拝聴できました。ありがとうございました。



別紙①-2 講演 2 「静岡県内の河川事業インフラ整備と今後の展開」コメント (16 件)

- 静岡県内における防災事業の進行状況が良くわかりました。
- よい講演でした。
- 勾配が急な安倍川について特に河床上昇についての対策があるば教えて頂きたかった。
- 静岡県内の河川事業についていろいろと学べました。
- 私たちの知らなかった河川事業インフラ整備と知ることが出来ました
- 流域治水政策は必要です。しかし、昨今の降雨量の影響で浸水が起こる現象が今後も続いたらコンクリートによる貯水槽も取り入れていくことが必要と考えます。
- 治水事業は住民の命に直結する大事な事業です。生物多様性にも配慮され素晴らしいです。
- 前職で、土木行政、特に河川砂防事業に携わったことから、ほぼ見聞きしていた内容ではありましたが、改めて講演を聞き新たに学べたこともあり、有意義でした。
- 国交省目線だったので次回は県管理河川のインフラ整備と今後の展開についても講演お願いします。
- 流域治水を市民の皆様にご理解いただく仕組みが必要に思います。
- 富士山で工事をしていることを初めて知りました。自然環境などでご苦労されていることがよくわかりました。
- 国土交通省が静岡県内で実施した河川海岸砂防に関する事業を再確認でき有意義であった。それぞれの事業での創意工夫を将来に向けて活かしていけないことを再確認した。
- 普段目につくことの少ない国土の保全事業ですが、気候の変化により重要度や緊急性が増していると感じました。
- 国交省各機関における、実施事例の紹介に感じた
- 静岡県内における河川などの整備について、毎年同じ時期のご講演の開催となっているため、その後の進捗が分かり、とても参考になりました。
- 県全体の事業を総合的に聞きすることができ有意義でした。



別紙② その他・全体コメント（12件）

- リニアの建設現場見学ができれば、世論での議論がより深まると思います。
- 講演内容はよいが、事務対応が素人のようであった。有料講座なので、お金を払って、きちんと対応できる方に対応を依頼したほうがよいと思います。
- 中部本部役員会後の講演会と重複していたため、役員会後の講演に出席せざるを得なくなった方が聴講出来ずに残念がっていらしゃいました。
- 講師 PC からの配信に時間を要旨、事前確認が必要である。WEB 参加者からも質問が出るように改善が必要である。
- お任せします。
- 森林・農地に焦点を当てて環境保全と資源活用・災害軽減をリンクさせた内容の講演を希望します。
- web 聴講を継続願います。
- 土曜の午後に引き続き開催して欲しいです
- 静岡市での土曜日開催であり、参加しやすいです。
- 技術士の会合であるため、「静岡県内の河川事業インフラ整備と今後の展開」について、もう少し深い講演を期待する
- 生まれ故郷である静岡の防災のお話を聞くことができ、大変有意義でした。ありがとうございました。
- 今後もハイブリット形式の講演会を、お願いいたします。

たくさんの貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上